

平成23年度（2011年度）事業報告書

財団法人 高度映像情報センター
（ A V C C ）

自 平成23年4月 1日
至 平成24年3月31日

霞が関ナレッジスクエア事業

I-1 事業概要

(1) ミッションは「共に考え、共に学び、共に担う社会へ」

霞が関ナレッジスクエア（KK²）（以下「KK²」とする。）は、「共に考え、共に学び、共に担う社会へ」をミッションとして掲げています。シンプルな言葉ですが、補足すれば次のようになります。

「共に考え」＝ 若者も働き盛りも高齢者も、地域や社会の課題が何なのかを真剣に考え抜くこと。

「共に学び」＝ 世代間で争うのではなく、課題解決に向け世代を超えて共に学び行動すること。

「共に担う」＝ 公助当てにせず自助共助による自治を目指し、老いも若きも一人一役みんなが主役の社会を作ること。

このような社会を築くことを使命と考えています。

* 霞が関ナレッジスクエアの愛称は「KK²」。最初のKは「Kasumigaseki」のK、「知識×知識＝知恵」という意味で「Knowledge×Knowledge」（Knowledgeの自乗：Square）と合わせて「KK²」（ケーケーツ）と呼んでいます。

(2) 民設民営の“デジタル公民館”

KK²のある「霞が関コモンゲート」は、PFI事業によってつくられた官民が同居する新しい試みの街です。KK²は、この「霞が関コモンゲート」の象徴として、税に依らない「民設民営の公民館」として2008年春に誕生しました。

実はここ千代田区霞が関という町は、一丁目から三丁目まで0.48k㎡の面積に昼間約60,000人が働いていますが、住民はたった4世帯6人（住民基本台帳2011年7月1日現在）という夜間過疎地域です。学校、公民館・図書館といった学びの場が整備されていません。そこで、KK²は霞が関周辺で働く皆様の学びと交流の場として誕生しました。

KK²は、霞が関コモンゲート（合同庁舎7号館）にある民設民営の“デジタル公民館”として活動しています。いつでもどこでもだれでも学べるプラットフォームを提供し、地域と地域のつながりと交流を促進することを目的に、通信衛星及びインターネットを活かしたライブ配信機能やオンデマンド学習機能といった遠隔教育活動を行っています。

KK²で開催する全てのセミナーやイベントは収録をし、学習コンテンツとしてKK²のWEBで公開しています。インターネットで無料WEB会員登録をしていただければ、どなたでも無料で学習していただけます。

I-2 事業収入

KK² 事業の財源は、ご協賛いただく民間企業、業界団体、大学専門学校、NPO 法人、個人等様からの協賛会費と、レンタルスペースの貸し出し料から賄い、またイベント・セミナー参加者にも実費をご負担いただき、行政に頼らない運営を行っています。

昨年の東日本大震災以降の企業活動の停滞は、KK²のレンタルスペース(スタジオ等)事業に大きく響き、前年度比▲330万円となりました。また、協賛会費収入も前年度比▲140万円となり、厳しい事業収入でした。

以下に平成 23 年度の収入を示す主なデータをまとめました。

(単位：円)

	平成 22 年度	平成 23 年度	差分
会費収入	8,199,000	6,787,000	▲1,412,000
利用料収入 (レンタルスペース利用料)	19,395,594	16,165,630	▲3,229,964
自主セミナー等収入	2,897,172	1,146,636	▲1,750,536
合計	30,491,766	24,099,266	▲6,392,500

I-3 メンバー状況

メンバーの種類は、KK² 事業の趣旨や活動に賛同する企業・業界団体、NPO 法人と大学・専門学校学会が対象の「協賛メンバー」(一般/NPO 法人/アカデミック)、主に当事業のサービスを利用するレンタルスペースヘビーユーザー対象の「一般法人メンバー」(民間企業等)、当事業の趣旨や活動に賛同し、セミナーへの参加やラウンジ等の利用を行う個人有識者を対象とする「個人」メンバーの 5 種類と、KK² 事業に参加する「Web 会員」を設けています。メンバー会費と平成 23 年度のメンバー数は、以下の通りです。

(1) メンバー状況

メンバーの種類	年会費	平成 23 年度	平成 22 年度
民間企業業界団体(協賛)	一口 126,000 円/年、一口以上	29 団体	30 団体
NPO 法人(協賛)	一口 63,000 円/年、一口以上	1 団体	2 団体
法人(一般)	一口 126,000 円/年、一口以上	7 団体	9 団体
大学専門学校(協賛)	一口 63,000 円/年、一口以上	12 団体	11 団体
個人(協賛)	12,600 円/年	35 名	52 名
Web 会員	無料(登録制)	6,432 名	5,280 名

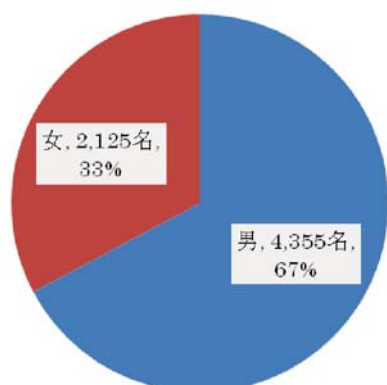
(2) メンバーおよび会員数

	協賛メンバー		法人 メンバー	アカデミ ック メンバー	個人 メンバー	Web 会員	
	(小計)	一般					NPO 法人
平成 23 年度	29 社・ 団体	28 社	1 団体	7 社	12 団体	35 名	6,432 名
平成 22 年度	32 社・ 団体	30 社	2 団体	9 社	11 団体	52 名	5,280 名
平成 21 年度	34 社	34 社		9 社	12 団体	47 名	3,951 名
平成 20 年度	39 社	39 社		9 社	8 団体	43 名	2,377 名

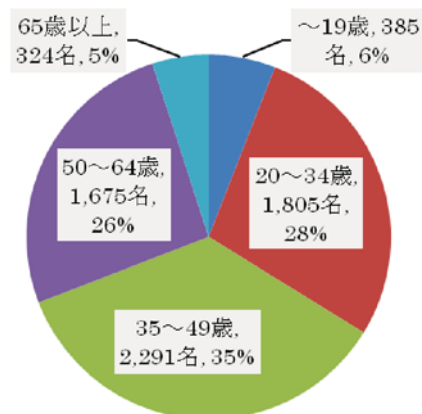
(3) Web 会員

WEB 会員(無料)は、今年度約 1,150 人増えて 6,480 人となりました。性別では、男性が約 7 割、女性が約 3 割となっています。また年代別では、20～34 歳、35 歳～49 歳、50 歳～64 歳がそれぞれ約 3 割と均等な割合となっており、ビジネスパーソンの世代が中心となっています。

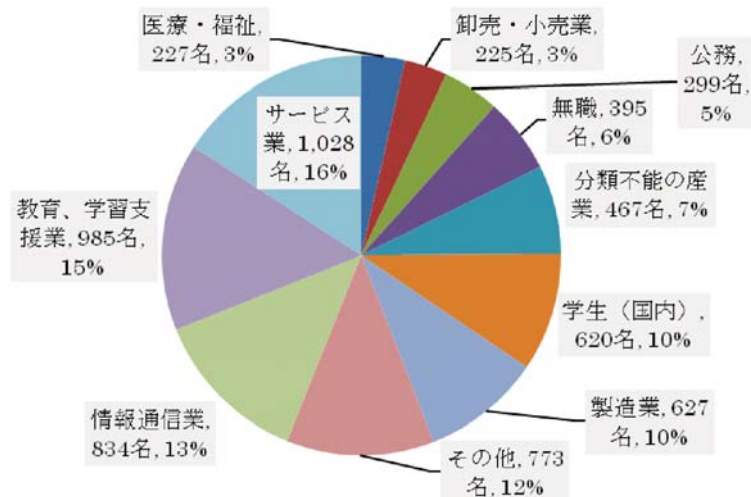
性別



年代別



業種別



(4) 施設利用者数

	利用者数計	スタジオ		ラウンジ	エキスパート倶楽部	
		内 KK2 主催事業参加者	主催事業数	内 レンタルスペース利用者	利用者数計	利用者数計
平成 23 年度	6,399 名	1,348 名	58 回	5,061 名	2,462 名	14,670 名
平成 22 年度	5,972 名	1,533 名	39 回	4,439 名	3,088 名	15,642 名
平成 21 年度	6,745 名	1,325 名	45 回	5,420 名	2,829 名	16,598 名
平成 20 年度	5,715 名	937 名	18 回	4,778 名	2,563 名	18,756 名

*ラウンジの利用人数は、メンバーズカードを利用した自動ドアの入室数。

*平成 23 年 3 月 14 日より、経済産業省の節電の要請により、ラウンジの利用時間を 9:00 - 18:00 とし空調、照明の使用時間を減らして運用。

I-4 自主プログラム「KK²ニッポン再生シリーズ」の取り組み

“3.11”東日本大震災発災直後に始まった平成 23 年度は、“3.11 からの再生”という大きな課題に立ち向かい、非力ながら精一杯に取り組んだ一年でした。3.11 以降 KK²は NPO 事業サポートセンターの「復興支援 IT ボランティア事業」を全面的にバックアップすると共に、復興支援活動携わる各省官僚と NPO リーダーとの定期的な情報交換会の場の提供、技術の提供を積極的に行いました。

今期の大テーマを「共同体の再生」「ニッポン再生」とし、自主プログラムの再編成を行い、ニッポン再生シリーズを開催することとしました。内容的には 3.11 東日本大震災から、どのように自立した共同体の集まりとしての新しい日本社会を再生してゆくのかを考えることとし、3 回 6 コマのプログラムを計画し実施しました。

タイトル	開催日時	参加者数
<p><u>平成 23 年度 KK²ニッポン再生シリーズ 第 1 回</u> 「社会貢献&災害ボランティア活動の人づくりとメンタルケア」</p> <p>第 1 部 「復興支援・ボランティア活動（大学・企業）で知っておきたい心のケア」 講師：渋谷英雄（ピースマインド・イーブ（株）国際 EAP 研究センター副センター長）</p> <p>第 2 部第 1 4 回イノベーションプログラム「TKK3 大学連携社会貢献活動支援士プロジェクトと震災ボランティア」 講師：前林清和氏（神戸学院大学人文学部教授）</p>	<p>2011 年 7 月 29 日（金） 14:30 - 19:30</p>	<p>128 名</p> <p>KK2：62 名 志働塾荒尾館：24 名 志働塾福岡館：15 名 仁淀川町役場：6 名 全国のご自宅 ・職場：21 名</p>

<p>平成 23 年度 KK2 ニッポン再生シリーズ 第 2 回 「再生に果たすシニアの役割」</p> <p>第 1 部 エキスパート・スタジオ 「安藤友彦さん」(第 13 回) ゲスト:安藤友彦氏 農業家(山梨県北杜市武川町在住)/元 株式会社リコー 開発エンジニア</p> <p>第 2 部 講演「新たな共同体の再生 ～求められるシニアの参画～」 講師:高畑敬一 氏 NPO 法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ(ナルク)会長 新しい公共をつくる市民キャビネット 代表</p>	<p>2011 年 9 月 16 日(金) 15:00 - 19:30</p>	<p>132 名</p> <p>KK2: 68 名 志働塾荒尾館: 18 名 志働塾福岡館: 19 名 全国のご自宅 ・職場: 27 名</p>
<p>平成 23 年度 KK2 ニッポン再生シリーズ 第 3 回 「限界集落・無縁社会からの再生」</p> <p>第 1 部 エキスパート・スタジオ 「豊重 哲郎さん」(第 17 回) ゲスト:豊重哲郎氏 (鹿児島県鹿屋市串良町柳谷自治公民館長)</p> <p>第 2 部 講演「地域力創造は「絆の再生」と「緑の分権改革」から」 講師:椎川忍 氏(総務省 自治財政局長)</p>	<p>2011 年 12 月 2 日(金) 15:00 - 19:30</p>	<p>177 名</p> <p>KK2: 48 名 志働塾荒尾館: 21 名 志働塾福岡館: 21 名 仁淀川町立 中央公民館: 7 名 安芸高田 市民文化センター : 10 名 日之影町役場会議室 : 20 名 陸前高田市 長洞元気村 仮設住宅集会所 : 2 名 全国のご自宅 ・職場: 48 名</p>

I-5 3.11 東日本大震災 義援活動

KK²では、東日本大震災発生後 2012 年 3 月末まで、主催するプログラムを「東日本大震災義援プログラム」と名付け、有料プログラムの参加費用の中から一人ワンコイン(500 円)を義捐金として拠出しました。ご出演者や個人からの義援金も合わせて、宮城県岩沼市、岩手県大船渡市末崎地区公民館にお届けいたしました。義援金総額は、817,500 円となりました。

義援金総額 ¥817,500	(内訳)	岩手県大船渡市 415,500 円	宮城県岩沼市 402,000 円
義援金プログラム参加費	523,500 円 (500 円×1,047 名)	375,500 円	148,000 円
出演者からの寄付	97,000 円	—	97,000 円
個人からの寄付	197,000 円	40,000 円	157,000 円

更に KK²文化プログラムのうち、出演者の了解を得られた 26 プログラムについては、被災地の仮設住宅の集会場や公民館等へ無料ライブ配信を行いました。被災地でのコミュニティ再生の一助となればとの思いで実施いたしました。

I-6 文部科学省 ICT を活用した生涯学習支援事業（実証的調査研究）

仮設住宅コミュニティを支える情報ボランティア育成プラットフォームの整備に関する実証的調査研究

(1) 趣旨

KK2 は、東日本大震災の被災地において ICT ボランティアを展開する「復興支援 IT ボランティア（主催：NPO 法人 NPO 事業サポートセンター）」を主対象として、学習コンテンツ、キャリア相談等を提供し、情報ボランティア育成プラットフォームを構築してきました。

本実証的調査研究では、ボランティアの現場を同行調査し、アンケート調査、ヒアリング調査等の手法により、参加者のニーズ及びコンピテンシーを分析し、今後、継続して復興地域を支援する、ICT を活用した情報ボランティアの資質向上のための学習環境、様々な運用的課題、また、活動に資する学習コンテンツやカウンセリングの在り方を明らかにして、より効果的な IT ボランティア育成プラットフォームを維持構築することを目指しました。

併せてボランティアが訪れる復興地域の仮設住宅のニーズを調査し、地域住民に直接役立つ ICT 環境、学習コンテンツ等を洗い出し、情報ボランティアや協力企業と連携してシステムを提供、構築し、ICT を活用した地域コミュニティの活性化、独居高齢者の支援、地域健康相談の支援等、課題解決を行う仕組みを検証しました。

(2) 委託期間 平成 23 年 9 月 13 日～平成 24 年 3 月 26 日

(3) 事業の内容等

平成 23 年 9 月より、ほぼ毎月復興地域を訪れた「復興支援 IT ボランティア」に同行し、学習コンテンツ、カウンセリング等の学習環境のニーズを調査しました。

調査によりニーズの多い学習コンテンツ 4 作品を新規作成し、ボランティア参加者が自身の都合で学習できる Web によるオンデマンド視聴環境を整備しました。復興地域の住民については、自治会あるいは支援対象が明確な以下の仮設住宅に ICT を活用した直接支援を実施しました。

長洞元気村仮設住宅（陸前高田市）に衛星通信を用いたコンテンツ視聴環境を整え、番組視聴を契機とした地域コミュニティの活性化に貢献した。釜石市平田第 6 仮設住宅（釜石市）では、支援団体（釜石ママハウス）の協力を得て、子育てを通じた家族の健康相談会を実施、さらに Web 会議システムを利用した遠隔健康相談を首都圏の専門家と結んで実施して、専門家の少ない地域での住民相談の可能性を検証しました。

ボランティア参加者及び地域住民を対象に、アンケート及びヒアリング調査を行い、関連するコンピテンシーを検証しました。

(4) 事業の実施経過

1) 復興支援 IT ボランティアへの同行調査・オリエンテーション等

- | | |
|-----------------|--------------------------------|
| ①09 月 14 日－15 日 | 事前調査：ボランティア予定の仮設住宅を訪問し予備調査。 |
| ②09 月 22 日－26 日 | ボランティア（第 5 回）に同行し活動実態を調査。 |
| ③10 月 12 日 | ボランティア活動 KK2 オリエンテーション |
| ④10 月 21 日－24 日 | ボランティア（第 6 回）に同行しコンテンツニーズを調査。 |
| ⑤11 月 25 日－28 日 | ボランティア（第 7 回）に同行しコンテンツニーズを調査。 |
| ⑥12 月 08 日－11 日 | ボランティア（第 8 回）に同行しコンテンツニーズを調査。 |
| ⑦01 月 17 日 | ボランティア活動 KK2 オリエンテーション |
| ⑧01 月 19 日－22 日 | ボランティア（第 9 回）に同行し活動を撮影、コンテンツ化。 |
| ⑨02 月 20 日 | ボランティア活動 KK2 オリエンテーション |

- ⑩02月23日-29日 ボランティア（第10,11回）にてコンテンツを上映評価。
- ⑪03月08日 復興支援 IT ボランティアビデオ視聴会の開催と上映評価
- ⑫03月13日 ボランティア活動 KK2 オリエンテーション
- ⑬03月15日-21日 ボランティア（第12,13回）にてコンテンツを上映評価。

2) 復興支援 IT ボランティアへのアンケート調査

第8回ボランティア以降のボランティア参加者に対し、KK2サイトにてWebアンケートを実施。情報ボランティアに求められるコンピテンシー要素の調査を行いました。

3) 復興支援 IT ボランティアへのヒアリング調査

復興支援 IT ボランティアに参加する主に学生リーダーを対象に、KK2 キャリアカウンセラーによるカウンセリング形式でのヒアリング調査を行い、Web アンケートでは捉えきれないボランティア参加者の具体像を洗い出しました。

4) 釜石市平田第6仮設住宅（釜石市）での遠隔相談

- ①10月22日 事前調査を兼ね、血流計を用いた健康相談会を実施。
- ②12月24日 健康相談会を実施。
- ③01月21日 健康相談会を実施。
- ④01月25日-02月09日 Web 会議システムを用いた遠隔健康相談を実施。

5) 長洞元気村（陸前高田市）での遠隔相談

- ①09月30日 高速回線（ADSL）を用いたコンテンツ配信実験（不良）。
- ②11月21日 衛星通信による受信環境を整備（アンテナ設置）。
- ③11月30日-3月23日 衛星通信により番組を配信（7回）。

6) 復興支援 IT ボランティア対象仮設住宅への調査等

上記1) ①～⑥にて、仮設集会所館関係者、住民、ボランティア参加者よりヒアリング調査を行い、新規コンテンツを開発し、同⑨～⑬にて、コンテンツを上映評価しました。

①復興支援 IT ボランティアの活動概要

[災害支援から復興支援へ 被災地の自立とコミュニティ再生の支援活動](#) 時間：約25分

②高齢者孤独死防止活動事例

[自立・奉仕・助け合いで地域を支えるナルク](#)

[～中標津“見廻りたい”の“孤独死防止”活動～](#) 時間：約14分

③村上誠二氏（陸前高田市長洞元気村）インタビュー

[3.11を風化させないために ～震災体験と被災地の復興のいま～](#)

時間 全体約45分、13項目構成各項目1分半～5分半

④講演 臼澤良一氏（大槌町まごころ広場 館長）

[3.11を風化させないために ～まごころ広場・まごころの郷のボランティア活動～](#)

時間：約47分

I-7 夢基金助成事業による教材開発と普及活動

独立行政法人国立青少年教育機構の平成23年度子ども夢基金助成事業（教材開発・普及活動）の採択を受け、小学校高学年を対象にしたコミュニケーション学習教材「そうだったのか！ わたしの行動」を開発、インターネット上に学習サイトを開設、教材の提供を行いました。

(1) 開発した教材の公開サイト：<http://yume.avcc.or.jp/>

(2) 開発した教材の構成

1) コミュニケーション行動チェック

自分が生活のなかでどんな行動をとっているかを10コの設問に応じてチェックし、自分のタイプ（自分中心のタイプ、自分のことは言えないタイプ、自分の意見も言え、他の人のことも考えられるタイプ）を知る。

2) ミニドラマの視聴

①相手の気持ちを大切に自分の意見を伝える力

②ノーと言う力

③異なるものを受け入れる力

以上のミニドラマ形式の3教材をそれぞれ視聴したあと、自分の行動について3つの事例から1つを選択し、自分の傾向を知り、よりよい行動を学ぶ。

3) アクションプラン・ワークシート

ミニドラマの視聴やこれまでの自分の行動を振り返って、自分の行動で気になっていたこと、学習した結果改善したいことなどをそれぞれ300字以内に自由記述する。

4) アンケート

5) 修了証印刷



(3) 教材の普及活動事業

開発した教材は平成 23 年 12 月 28 日にインターネットサイトで公開し、誰でもいつでもどこでもアクセスし、利用できることとし、以降、利用提供を続けています。また、NPO 法人まちづくりあら'モ の協力により、同 NPO が活動する志働塾 荒尾館（熊本県荒尾市）において体験学習事業を実施しました。

- 1) 日時：平成 24 年 1 月 8 日、9 日、 時間午前 10：30～12：00 午後 13：30～15：00
- 2) 目的：教材を利用した学習事業の実施
- 3) 対象者：児童、地域の子ども支援者
- 4) 参加者数：8 日 7 人、9 日 7 人、計 14 名
- 5) 教材の利用方法：一人一台のパソコン・インターネット環境とプロジェクター、講師および学習支援者を用意し、いっせい学習により教材を学習。合わせてコミュニケーションゲームを実施し、コミュニケーションをテーマとしたリアルとバーチャルの学習を実施しました。

(4) 教材の活用・普及結果について

- 1) 開発期間がきわめて少ない中で開発したことを考えるとアニメーション教材の画像・音声ともきわめてクオリティが高い教材となりました。
- 2) 採択結果の確定が大幅に遅れた関係で、アニメーションや教材システム作り込み期間が約 1 カ月半しかとれず、実質的な教材の提供、評価期間は約 25 日間だったが、期間中に 117 件のアクセスがあり、国内 25 都府県と海外からもアクセスがありました。
- 3) 児童を対象とした学習事業は準備不足もあり、参加者数が少なかったが、子どもやサポータの生の声を聞くことができ、また、コミュニケーションゲームを合わせて実施したことで、コミュニケーション学習での教材利用実績、事例を築くことができました。

(5) 教材活用の課題について

ミニドラマを視聴して自分だったらどういう行動をとるか・・・という設問と回答を 3 つの選択肢から選んでもらう構成としたが、3 つにはない行動をするという意見や、相手との関係の度合いで回答が変わる、という指摘を学習事業で受けました。

学習事業の場合は、講師やサポータが学習者のそうした質問をきっかけに、学習を深めることができますが、一人パソコンで学習する場合は、そういうことにどういふふうに対応できるかが課題と考えられます。

I-8 エキスパートの育成 しごと力向上

(1) 「エキスパート・スタジオ」 ～社会で活躍する人のしごと力を学ぶ～

「エキスパート・スタジオ」は、さまざまな分野で活躍するエキスパートをゲストに迎え「仕事とは」「働くとは」「働く喜びとは」などについて考え学ぶ、インタビュー形式のキャリア教育セミナーです。ゲストは社会人10年目程度の若い世代と、定年退職後に社会の課題解決に活躍するシルバー世代の方々。今年度で6名のエキスパートを紹介しました。収録映像はWEBコンテンツとしてKK2ライブラリで公開しオンデマンドで視聴できます。

開催日	タイトル	参加者数
2011/9/16	第13回 農業家 安藤 友彦さん (山梨県北杜市武川町在住)	68名
2011/11/7	第14回 航空業界 総合職 伊藤 麻帆さん (全日本空輸株式会社)	24名
2011/11/14	第15回 IT業界 システムエンジニア職 山本 由貴さん (伊藤忠テクノソリューションズ株式会社)	27名
2011/11/14	第16回 IT業界 営業職 鳥羽 謙一さん (伊藤忠テクノソリューションズ株式会社)	26名
2011/12/2	第17回 ソーシャルアントレプレナー 豊重哲郎さん やねだん(鹿児島県鹿屋市串良町柳谷集落)自治公民館長	48名
2012/1/18	第18回 落語家 立川談慶さん	49名

(2) [コンピテンシー・チェック](#)

[～「Feel」「Think」「Act」あなたのコンピテンシーをチェック～](#)

コンピテンシーは簡単に言えば「社会で活躍している人(エキスパート)の行動特性」です。KK²では就いている職業に関わらずエキスパートと言われる人達が共通的に持つコンピテンシーをFeel(人間関係力)、Think(問題解決力)、Act(実行力)と定め、更に9項目の“力”に分類しました。

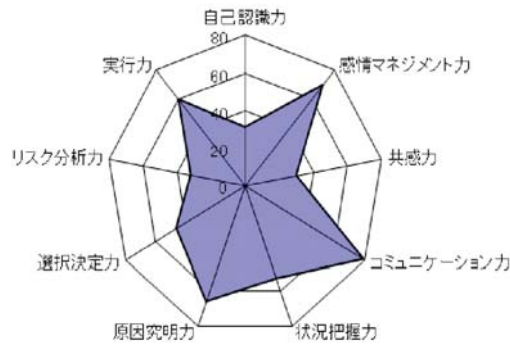
一人一人が自分自身の9項目のコンピテンシーをセルフチェックし、自分の強み弱みに気付く教材をWEB上で提供しています。以下(a)はH23年度にKK²サイトでコンピテンシー・チェックを受講された方の平均スコアとチェック後のアンケートで9項目のコンピテンシー項目について理解できたか?を確認するアンケート結果の平均です。(b)は早稲田大学人間科学部の「教育メディア科学」受講生の平均スコアとアンケート結果の平均です。

平均スコアを見るとコンピテンシー項目毎に大きな差がでていますが、各コンピテンシー項目について理解が深まったことが読み取れます。知識を伝えるのではなく、自分自身の行動特性の強み弱みに気付くことに、このチェックが有効であると言えます。

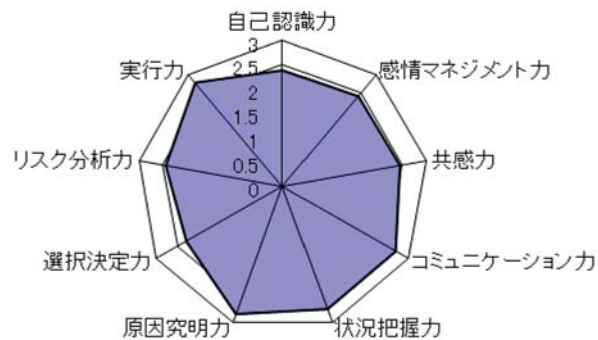
1) コンピテンシーチェック集計データ (KK²)

単元 CD	タイトル		テスト	アンケート
人間関係力				
6	自己認識力	ケーススタディ「就職活動」	31	2.39
7	感情マネジメント力	ケーススタディ「年下の上司」	70	2.42
8	共感力	ケーススタディ「父親の転勤」	30	2.45
9	コミュニケーション力	ケーススタディ「バイトのシフト交替」	79	2.68
問題解決力				
1	状況把握力	ケーススタディ「町のゴミ問題」	53	2.69
2	原因究明力	ケーススタディ「パソコン故障の原因」	66	2.8
3	選択決定力	ケーススタディ「妹の進路決定」	46	2.28
4	リスク分析力	ケーススタディ「犬小屋づくり」	32	2.44
実行力				
5	実行力	ケーススタディ「アイスホッケーのスターになるために」	60	2.79

① コンピテンシー・スコア (KK²)



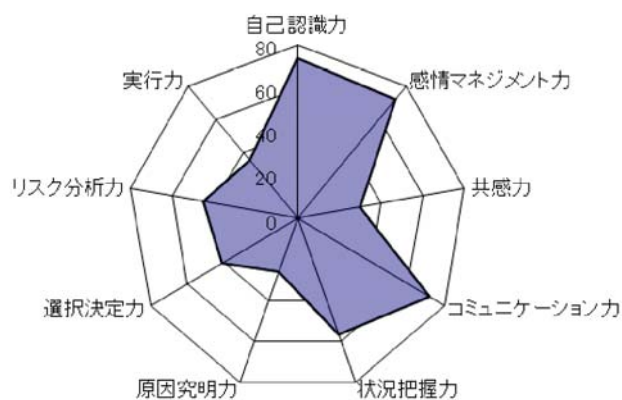
② アンケート結果 (KK²)



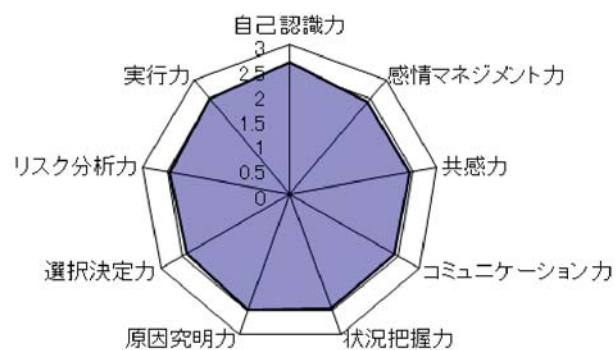
2) コンピテンシーチェック集計データ (早稲田大学)

単元CD	タイトル		テスト	アンケート
人間関係力				
6	自己認識力	ケーススタディ「就職活動」	74	2.65
7	感情マネジメント力	ケーススタディ「年下の上司」	72	2.42
8	共感力	ケーススタディ「父親の転勤」	30	2.45
9	コミュニケーション力	ケーススタディ「バイトのシフト交替」	72	2.43
問題解決力				
1	状況把握力	ケーススタディ「町のゴミ問題」	57	2.45
2	原因究明力	ケーススタディ「パソコン故障の原因」	26	2.48
3	選択決定力	ケーススタディ「妹の進路決定」	41	2.39
4	リスク分析力	ケーススタディ「犬小屋づくり」	45	2.45
実行力				
5	実行力	ケーススタディ 「アイスホッケーのスター になるために」	35	2.5

① コンピテンシー・スコア(早稲田)



② アンケート結果(早稲田)



(3) しごと力向上ライブラリ

～いつでもどこでも学べるしごとに必要な「Skill」「Knowledge」～

2002年から毎月1本新作を公開しているオンデマンド学習講座シリーズ。今年度で58講座170本を公開。学校で十分に教えられていない社会で必要とされるスキル、知識をテーマにオンデマンドコンテンツを開発。年間延べ10,000人の方の受講していただいています。今年度公開した講座(6講座12単元)を含め、現在238本公開中です。

*講座の開発にあたっては、しごと力向上に役立つテーマに詳しい専門家の方に企画、講師役等でご協力いただいております。

*協賛メンバー様向けに、新入社員向け教材をピックアップしたEラーニングサービスもご用意しています。実費のみの低価格でご利用いただけます。

今年度公開した講座(6講座12単元)一覧

更新月	タイトル	視聴時間
2011年4月	知って役立つ労働法 ④仕事と生活の調和を考えた働き方	14分17秒
2011年5月	今こそ知っておきたい「仕事に役立つ会計の基本」 ①会計はなぜ必要なのか	14分17秒
2011年6月	今こそ知っておきたい「仕事に役立つ会計の基本」 ②制度としての財務会計とは	11分40秒
2011年7月	今こそ知っておきたい「仕事に役立つ会計の基本」 ③日本における監査とは	13分37秒
2011年8月	職場で役立つコミュニケーションスキル基本編 ～円滑にコミュニケーションするヒント～ ①職場で遭遇するコミュニケーション	10分15秒
2011年9月	職場で役立つコミュニケーションスキル基本編 ～円滑にコミュニケーションするヒント～ ②聞き上手は話し上手～聞くスキル～	8分17秒
2011年10月	職場で役立つコミュニケーションスキル 基本編 ③話し手の心を開く～質問スキル～	8分16秒
2011年11月	職場で役立つコミュニケーションスキル 基本編 ④円滑なコミュニケーション～提案・リクエスト・意見を述べる～	7分28秒
2011年12月	復興支援・ボランティア活動(大学・企業)で知っておきたい心のケア	44分01秒
2012年1月	個人情報保護のための内部監査入門 単元1 内部監査の進め方	11分17秒
2012年2月	個人情報保護のための内部監査入門 単元2 監査チェックリストについて	9分34秒
2012年3月	21世紀の日本人に必要なちから 「レジリエンス(弾力的)」なストレス対処術	16分12秒

なお現在 KK2Web サイトで学習できる講座ライブラリー数は以下のとおりです。
*登録カテゴリが重複しているものがあります。

KK2 ライブセミナー	76 講座
KK2 しごと力道場	1 講座
エキスパート・スタジオ	18 講座
イノベーションプログラム	15 講座
たおやかコンソーシアム	9 講座
特別企画	33 講座
しごと力向上ライブラリ	69 講座
ビジネス	13 講座
法律	5 講座
健康	12 講座
生活文化	12 講座
ビジネスマナー	8 講座
ビジネススキル	18 講座
IT スキル	6 講座
マネジメントスキル	3 講座
KK2 文化プログラム	75 講座
ワインセミナー	18 講座
霞が関寄席	41 講座
霞が関ミュージックサロン	12 講座
霞が関シアター	4 講座
社会人入門講座	18 講座
合計	238 講座

(4) 「[KK2 カウンセリングプログラム](#)」 (初回無料)

社会人 10 年目くらいまでの若いビジネスパーソンおよび高校生、大学生、専門学校生を対象とした「キャリアカウンセリング」を行いました。平成 23 年度は NPO 法人日本キャリア開発協会 (JDCA) と提携し月～金まで 1 日 4 コマ、最大週 20 名のカウンセリングを行いました。

1) 実績

- ・ カウンセリング実施 26 名 (申し込み 34 名、キャンセル 8 名)
内訳 男性 7 名、女性 19 名 / 学生 6 名、社会人 20 名 (27～47 才)

2) 相談内容

- ・ 就職 7 件
- ・ 転職 14 件
- ・ 進学 3 件
- ・ 留学 2 件

(5) 「[KK2 しごと力道場](#)」 しごと力に磨きをかける他流試合

KK2 では、産学官の様々な領域で活躍するビジネスパーソンを対象に、根源的なテーマについてディスカッション、ディベートを行い、「自分を客観的に評価する力」「自分で考える力」を養うことを目的とした「KK2 しごと力道場」を 2012 年 1 月 28 日 (土) に参加者 8 名で開催いたしました。

(6) [イノベーションプログラム ～産学官連携による大学教育改革プログラム～](#)

文部科学省の施策や全国の大学での実践的・先進的取り組みの発表の場として、これまで 15 回開催。KK2 で開催されるプログラムの模様を全国の国公立、私立大学にライブ配信しています。参加大学は 115 大学にのぼっており、今年度は大学と社会との連携、産学連携、キャリア教育、就労支援をテーマに実施しました。

開催日	タイトル	参加者数
2011/7/29(金)	第 14 回イノベーションプログラム 「TKK3 大学連携社会貢献活動支援士プロジェクトと震災ボランティア」	128 名 (サテライト会場含む)
2011/11/24(木)	第 15 回イノベーションプログラム「節電社会・スマートシティに向けた、大学の貢献」	45 名

I-9 KK2 文化プログラム ～日本を理解し文化に親しむ～

官庁街、夜間過疎地・・・堅く無機質なイメージの霞が関。この街のにぎわいづくりの一環として古典芸能、音楽、映画、食文化などの文化イベントを実施。ビジネスパーソンが文化に親しむ機会と、交流の場を提供。毎月1回開催の若手落語家や講談師による「霞が関寄席」、ワインの基本知識を楽しく学ぶ「ワインセミナー」、海外で活躍する音楽家や古典音楽などのコンサート「霞が関ミュージックサロン」、上映する機会が少ないドキュメンタリー映画を紹介する「霞が関シアター」などを実施しました。

文化庁の「霞が関から文化力」事業として認定され文化庁のWebサイトでも広報されています。主なプログラムは次の通りです。

(1) ワインセミナー

ワイン伝統国であるヨーロッパはもちろん、新興国、そして日本などをテーマに、生産地やぶどうの種類、ワインの製造方法など初心者向けにわかりやすく解説するワイン講座。講師による講義だけでなく、ワインの試飲や交流会を通して楽しいひとときを企画し、ビジネスパーソンが気軽にワインの知識を身につけられる機会、異業種の交流の場の提供を行いました。

開催日	タイトル	参加者数
2011/7/6(水)	<u>ワインセミナー 夏こそ楽しもう！”スパークリングワイン”</u>	29名
2011/11/1(火)	<u>気軽に仲間と楽しむ「家飲みワイン」シリーズ 第2回ワインとチーズの組み合わせを楽しもう</u>	49名
2012/3/1(木)	<u>気軽に仲間と楽しむ「家飲みワイン」シリーズ 第3回ワインとチーズの組み合わせを楽しもう ～イタリア編～</u>	31名

(2) 霞が関寄席

若手の落語家、講談師に高座に上がる機会を提供。ストレスの多いビジネスパーソンが伝統芸能に触れ、また笑いでストレス発散、リラックスする場を提供します。月一回開催しました。

開催日	タイトル	参加者数
2011/4/27(水)	四月 霞が関寄席 立川談慶 霞が関独演会	35名
2011/5/25(水)	五月 霞が関寄席 馬吉・駒与志二人会	82名
2011/6/24(金)	六月 霞が関寄席 鬼丸・小せん二人会	21名
2011/7/27(水)	七月 霞が関寄席 立川談慶 霞が関独演会	36名
2011/8/26(金)	八月 霞が関寄席 神田織音の江戸へいざなう講談会	20名
2011/9/30(金)	九月 霞が関寄席 鬼丸・小せん二人会	20名
2011/10/26(水)	十月 霞が関寄席 立川談慶 霞が関独演会	48名
2011/11/30(水)	十一月 霞が関寄席 馬吉・駒与志二人会	103名
2011/12/16(金)	十二月 霞が関寄席 鬼丸・小せん二人会	14名
2012/1/25(水)	新春 霞が関寄席 立川談慶 霞が関独演会	59名
2012/2/24(金)	二月 霞が関寄席 神田織音の江戸へいざなう講談会	21名
2012/3/23(金)	三月 霞が関寄席 鬼丸・小せん二人会	21名

(3) 霞が関シアター

霞が関の公民館として、文化・科学・教育分野のインディペンデント系（自主・独立）映画の上映会を開催しています。上映会後は、映画をテーマにしたトークイベントと制作スタッフや参加者との交流会を実施しています。

*2011年3月14日「月あかりの下で ～ある定時制高校の記憶～」の上映とトークイベントを計画していましたが、東日本大震災の直後で延期し、2011年5月18日（水）に開催しました。

開催日	タイトル	参加者数
2011/5/18(水)	<u>霞が関シアター+トークイベント 月あかりの下で ～ある定時制高校の記憶～</u>	39名
2011/11/2(水)	<u>霞が関シアター+トークイベント「かすかな光へ」</u>	24名
2012/3/9(金)	<u>「3.11 私（たち）にできることを考える会」</u> <u>『3.11 A Sense of Home Films』</u>	111名
2012/3/10(土)	<u>「3.11 私（たち）にできることを考える会」</u> <u>『3.11 A Sense of Home Films』</u>	81名

(4) 霞が関ミュージックサロン

アフターファイブ、都心のビジネスパーソンの方々に気軽に良質の音楽・伝統芸能に親しんでいただくためのサロンとして開催しました。

開催日	タイトル	参加者数
2011/7/1(金)	<u>霞が関ミュージックサロン 第7回</u> <u>《手の歌》コンサート・米内山明宏 with 佐藤慶子</u>	30名
2011/10/14(金)	<u>霞が関ミュージックサロン 第9回</u> <u>箏 YURI x YURI～坂本ゆり子&吉川由里子～</u>	26名
2011/12/9(金)	<u>霞が関ミュージックサロン 第10回</u> <u>「松田理奈&奥泉貴圭 Duo (ヴァイオリン&チェロ)」</u>	30名
2012/3/29(木)	<u>霞が関ミュージックサロン第11回</u> <u>～箏の夕べ～ 吉村七重&福永千恵子</u>	78名

(5) その他のプログラム

1) 特別企画

平成 23 年度には以下の特別プログラムを開催しました。

開催日	タイトル	参加者数
2011/7/16 (土)	<u>ビジネスパーソンの強み引き出し塾</u> <u>三井豊久氏 (有限会社ルーマス 代表取締役)</u>	16 名

2) NPO 法人及び東日本大震災復興支援に協力

協力企画として NPO 法人及び東日本大震災復興支援関連事業に会場協力しました。

開催日時	タイトル	参加者数
2011 年 4 月 5 日 (火) 18:00-20:00	<u>市民キャビネット 農都部会</u> <u>「有機農業の人づくり ～実践 40 年の現場」</u> <u>金子美登 氏 (埼玉県小川町霜里農場/全国有機</u> <u>農業推進協議会理事長)</u> <u>主催：新しい公共をつくる市民キャビネット</u>	120 名
2011 年 4 月 13 日 (水) 12:00-13:30	新しい公共をつくるランチミーティング 運営：NPO 事業サポートセンター×霞が関ナレッジスクエア	22 名
2011 年 5 月 18 日 (水) 12:00-13:30	新しい公共をつくるランチミーティング 運営：NPO 事業サポートセンター×霞が関ナレッジスクエア	15 名
2011 年 6 月 8 日 (水) 12:00-13:30	新しい公共をつくるランチミーティング 運営：NPO 事業サポートセンター×霞が関ナレッジスクエア	15 名
2011 年 6 月 15 日 (月) 17:00-21:00	復興支援 IT ボランティア なんでも調べたい 活動報告会 主催：NPO 法人 NPO 事業サポートセンター	60 名
2011 年 7 月 4 日 (月) 18:00-20:00	東日本大震災 復興に向けた政策提言Ⅱ 主催：新しい公共をつくる市民キャビネット	72 名
2011 年 7 月 13 日 (水) 12:00-13:30	新しい公共をつくるランチミーティング 運営：NPO 事業サポートセンター×霞が関ナレッジスクエア	15 名
2011 年 8 月 3 日 (水) 14:00-17:00	東北ハイスクール絆プロジェクト ワークショップ (キズナハイスクール) 主催：NPO 法人カタリバ	20 名

2011年8月5日(金) 12:00-16:00	陸前高田市立図書館被災資料(デジタルデータ) 復元贈呈&記者発表会 主催:NPO法人地域資料デジタル化研究会	10名
2011年8月10日(水) 12:00-13:30	新しい公共をつくるランチミーティング 運営:NPO事業サポートセンター×霞が関ナレッジスクエア	15名
2011年9月14日(水) 12:00-13:30	新しい公共をつくるランチミーティング 運営:NPO事業サポートセンター×霞が関ナレッジスクエア	15名
2011年10月12日(水) 12:00-13:30	新しい公共をつくるランチミーティング 運営:NPO事業サポートセンター×霞が関ナレッジスクエア	15名
2011年10月12日(水) 18:00-20:30	復興支援ITボランティアオリエンテーション 主催:NPO法人NPO事業サポートセンター	40名
2011年12月14日(水) 12:00-13:30	新しい公共をつくるランチミーティング 運営:NPO事業サポートセンター×霞が関ナレッジスクエア	15名
2012年1月17日(火) 18:00-20:30	復興支援ITボランティアオリエンテーション 主催:NPO法人NPO事業サポートセンター	20名
2012年1月18日(水) 12:00-13:30	新しい公共をつくるランチミーティング 運営:NPO事業サポートセンター×霞が関ナレッジスクエア	15名
2012年2月1日(水) 18:30-21:00	新しい公共フォーラム2012第1回「3.11後、新しい公共の未来を問う」 主催:新しい公共をつくる市民キャビネット	100名
2012年2月8日(水) 12:00-13:30	新しい公共をつくるランチミーティング 運営:NPO事業サポートセンター×霞が関ナレッジスクエア	14名
2012年2月20日(月) 18:00-20:30	復興支援ITボランティアオリエンテーション 主催:NPO法人NPO事業サポートセンター	34名
2012年2月29日(水) 18:00-20:00	生涯の安心をつくる少子・高齢社会へのシステム転換を提言する会 主催:生涯の安心をつくる少子・高齢社会へのシステム転換を提言する会	25名
2012年3月12日(月) 18:00-20:30	東日本大震災復興支援活動 報告会 ～新しい公共ランチミーティング@KK2 番外編～ 主催:ランチミーティング@KK2有志	61名
2012年3月13日(火) 18:00-20:30	復興支援ITボランティアオリエンテーション 主催:NPO法人NPO事業サポートセンター	30名
2012年3月17日(土) 13:00-17:30	新しい公共フォーラム2012第3回「3.11後、これからの『地域』の話をしよう」 主催:新しい公共をつくる市民キャビネット	60名

3) 未来の学校づくり研究会

国立教育政策研究所の未来の学校づくり研究会内での講話の実施に協力し、主要部分をオンデマンドコンテンツとして公開しました。

開催日時	タイトル	参加者数
2011年4月25日(月) 12:00-16:30	大前研一氏による講話「未来の学校づくりへの示唆」	25名
2011年8月9日(火) 12:00-16:30	平田オリザ氏による講話「伝わらないことか ら」	25名

(6) 情報発信活動、コンテンツサービス活動 ～Web・メールマガジン等による情報発信～

1) メールマガジン([メッセージ from KK2](#))の発行

Web会員登録者には毎週1回(金曜日)、霞が関ナレッジスクエアメールマガジン「メッセージ from KK2」を発行し、新規セミナーや新作教材案内等を提供しています。画像も利用できるHTML形式に変更して発行してきましたが、さらに読みやすいよう構成、デザインを検討し、平成22年10月発行号よりリニューアルしました。平成23年度前期(4月～9月)には26回発行しました。

2) [オリジナルハイビジョンソフトのデジタルテレビ向けサービスの実施](#)

霞が関ナレッジスクエア開設記念として制作したハイビジョン作品「『江戸 TOKYO 散歩』～広重『名所江戸百景』と東京の今～」について、デジタルテレビ向けの新しいネットワークサービス「アクトビラ」にて、期間限定無料独占ストリーミング配信およびダウンロード配信を実施しています。当初、平成22年5月14日9月末までの限定無料サービスの予定でしたが、好評につき平成24年3月末まで延長することとしました。

■アクトビラ無料ダウンロード回数

No	コンテンツ名	配信開始日	配信終了日	累計
1	冬の部	2011/4/1	2012/3/31	534回
2	春の部	2011/4/1	2012/3/31	629回
3	夏の部	2011/4/1	2012/3/31	697回
4	秋の部	2011/4/1	2012/3/31	2,109回
平成23年度合計				3,969回

■アクトビラ無料ストリーミング視聴回数

No	コンテンツ名	配信開始日	配信終了日	累計
1	冬の部	2011/4/1	2012/3/31	1,428回
2	春の部	2011/4/1	2012/3/31	416回
3	夏の部	2011/4/1	2012/3/31	236回
4	秋の部	2011/4/1	2012/3/31	216回
平成23年度合計				2,296回

3) 霞が関ナレッジスクエア Web サイトのリニューアル

Web サイトは平成 23 年 4 月リニューアルを目指して 2 月より着手しましたが完成は 4 月以降にずれ込みました。リニューアル作業の結果、Web サイトは、以下のような構成で運営しています。

セミナーや学習コンテンツ等の情報にアクセスするための「しごと力をまなぶ」、メンバーになることのメリットをまとめた「KK2 とコラボる」、施設を予約、利用するときに必要な情報をまとめた「スペース・サービス利用」の 3 つに整理しました。

なお「しごと力をまなぶ」の構成は、先着セミナー情報（エキスパート・スタジオの新規開催等）や新着コンテンツ（しごと力向上ライブラリの新作等）、メルマガ「メッセージ from KK2（メールマガジンの最新メッセージ）」へのリンク、最新コンテンツへのアプローチルートと、「しごと力カテゴリ」（Feel/Think/Act/Knowledge/Skill）と「プログラムカテゴリ」（コンピテンシー・チェック/KK2 ライブセミナー/しごと力向上ライブラリ/KK2 文化プログラム/社会人入門講座/ビジネス教材検索）のカテゴリ分類ごとに、コンテンツにアプローチするルートに再編整理しました。

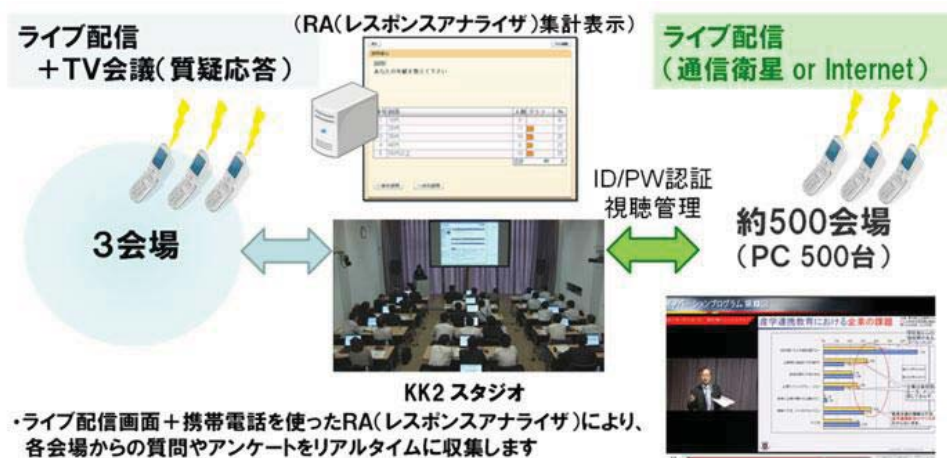
これにより、利用者の学習ニーズやテーマへの関心に沿って情報にたどり着きやすくなりました。

「KK2 とコラボる」は、企業や団体、大学、NPO 等が自分たちの活動に生かせる KK2 のセミナープログラムやコンテンツの活用方法をまとめ、「スペース・サービス利用」では、同様な視点で施設の利用ガイドをまとめました。

(7) 遠隔教育プラットフォームの普及 ～ライブ配信と学習ライブラリの拡充～

KK2 では、キャリア応援プログラム、KK2 文化プログラム、イノベーションプログラムに、全国及び全世界の遠隔地の方々が参加できる遠隔教育プラットフォームを整備し、ライブ配信を実施しています。参加者は PC もしくは携帯端末で受講し、レスポンスアナライザ機能を使って質問し、アンケートやテストに回答するなど、双方向の遠隔教育を実践しています。

また KK2 が主催するプログラムは原則すべて収録し、WEB コンテンツとしてサイトで公開しライブラリ化しており、いつでもどこでも学べるオンデマンド学習環境の拡充を進めています。



(8) 委員会等

1) 霞が関ナレッジスクエア運営委員会の設置および運営

産官学連携分野の有識者による運営委員会を設置し、定期的に運営状況の報告と事業運営について諮ります。開設3年度目の平成22年度から年2回(四半期毎→半期毎)の開催といたしました。平成22年度第2回運営委員会は東日本大震災の影響により、4月初旬の開催予定を5月に延期して実施いたしました。

委員： 渡部 俊也（東京大学先端科学技術研究センター 教授）
福田 猛（一般社団法人大学技術移転協議会 事務局長）
笹月 俊郎（独立行政法人科学技術振興機構（JST）産学連携本部）
霞が関7号館PFI株式会社（新日鉄エンジニアリング株式会社、大成建設株式会社、東京建物株式会社、株式会社久米設計）
久保田了司（（財）高度映像情報センター理事 霞が関ナレッジスクエア代表）
伊藤 健二（慶應義塾大学 大学院政策・メディア研究科 特別研究准教授）・
伊庭野基明（グローバルキャリアカウンセラー ビジネスコーチ）

（敬称略）

オブザーバー：文部科学省大臣官房会計課 管理班

事務局：（財）高度映像情報センター 霞が関ナレッジスクエア事務局

実施日：平成22年度第2回運営委員会：2011年5月13日9：30～11：30
「平成22年度報告、23年度計画の説明」

平成23年度第1回運営委員会：2011年10月31日13：30～15：30
「平成23年度 上半期報告」

2) 霞が関ナレッジスクエア プログラム開発委員会の設置および運営

新規プログラムの企画・開発について有識者によるプログラム開発委員会を設置し、プログラムの検討会を行ないました。

委員： 安藤 孝治（株式会社ANA 総合研究所 業務グループリーダー）
杉本 守孝（社団法人日本能率協会 経営研究主幹）
伊藤 健二（慶應義塾大学 大学院政策・メディア研究科 特別研究准教授）
伊庭野 基明（グローバルキャリアカウンセラー ビジネスコーチ）
前田 優一（NPO 法人まちづくりあら‘モ 理事長/志働塾（荒尾館・福岡館）塾長）
久保田 了司（（財）高度映像情報センター理事 霞が関ナレッジスクエア代表）
華井 弘子（霞が関ナレッジスクエア エキスパート倶楽部ゼネラルマネージャー）

事務局：財団法人高度映像情報センター 霞が関ナレッジスクエア事務局

開催日：第1回 2011年 8月25日15：00～17：00
第2回 2011年 11月24日15：00～17：00

コンサルティング事業

I 行政機関の情報化推進コンサルティング業務

(1) 鶴居村情報通信基盤施設整備施工監理業務（北海道阿寒郡鶴居村）
村内全域に整備する FTTH 網の施工にあたり、監理業務を行いました。

(2) 鶴居村情報通信推進業務（北海道阿寒郡鶴居村）
情報通信基盤の完成にあたり、本ネットワークの有効活用のアドバイスや住民への説明支援などを行いました。

(3) 上野原市次期基幹系システム導入支援業務（山梨県上野原市）
基幹業務系次期システム更新へ向け、システム開発に関する助言等を行いました。また、システム稼働に伴う検証業務を行うと共に、住民基本台帳システムにおける情報セキュリティ監査を実施しました。

(4) 上野原市自主共聴組合支援・情報通信基盤整備事業実施設計業務及び監理業務（山梨県上野原市）
FTTH のネットワーク構築に伴う工程会議の実施、提出書類の確認等の監理業務を行いました。工事完了後は、各種完了検査を実施しました。

(5) 甲州市次期電算システム導入支援業務（山梨県甲州市）
RFP（Request For Proposal）に基づき、甲州市の次期電算システムを構築するための管理業務を実施しました。平成 24 年度より新システムが安定稼働するように要件定義支援、工程管理、テスト監理等の業務を行いました。

(6) 甲州市収納事務等運用に関するアドバイザー業務（山梨県甲州市）
「コンビニエンスストアにおける収納」、「郵便振替 MT サービス」、「公金収納データ作成サービス」等における収納事務の運用を円滑かつ正確に行うための監理業務を行いました。また、収納運用に関する今後の取り組みについても、市行政事務の動向を踏まえ、支援・助言を行いました。

(7) 甲州市学校教職員用パソコン整備実施設計業務（山梨県甲州市）
学校教職員用の一人一台パソコンを導入するための実施設計業務及び監理業務を行いました。平成 24 年度より学校教職員において一人一台パソコンが稼働し、自宅においても安全な環境で仕事ができるシステムの構築支援を行いました。

(8) 山梨市コンビニエンスストアにおける収納等導入に係るコンサル支援業務（山梨県山梨市）
平成 24 年度から山梨市においてコンビニ収納が開始されるためのコンサルティング支援を行いました。

(9) 笛吹市図書館システム更新に伴う設計監理業務（山梨県笛吹市）
新図書館システム構築に向けて、現状調査、ベンダーヒアリングを行い、RFP を実施しました。デモンストレーションやプレゼンテーションの評価支援を行い、優先交渉権者の選定支

援を実施しました。施工フェーズでは、新図書館システムの監理業務を行いました。

(10) 笛吹市次期システム導入に関する支援業務（山梨県笛吹市）

次期業務系システム導入に関し、プロポーザル評価支援、住基系の法改正対応版の構築監理、自治体クラウドシステムの研修などを行いました。

(11) 市川三郷町出先ネットワークシステム更新設計監理及び新ネットワークシステム更新計画作成業務（山梨県市川三郷町）

町内の出先施設におけるネットワークシステムの現状調査・分析を行い、再構築するための実施設計、施工監理業務を行いました。また、次年度以降に予定されている職員一人一台パソコンの入替に伴い、新しいネットワーク及びサーバクライアントシステムの導入についても検討を行い、新システム構築に関する更新計画も作成しました。

(12) 身延町下部地区公民館ネットワーク構築設計業務委託（山梨県身延町）

新たに建築する下部地区公民館において、IT環境におけるネットワークを構築するための実施設計業務を行いました。

(13) 安芸高田市「光のネットワーク」整備事業実施設計業務（広島県安芸高田市）

FTTH網構築にあたり、総務省への交付金申請に関する助言を行うとともに、施工業者選定に関する実施設計業務を行いました。また、設計に伴う各種申請業務を行いました。施工業者決定後は、工程会議の実施、提出書類の確認等の監理業務を行いました。

II 消防・防災関連システムコンサルティング業務

(1) 内閣府中央防災無線網による地方自治体との情報共有化のための設計監理業務（内閣府）

内閣府と全国の都道府県及び首都圏の政令市との間に、災害情報共有通信設備の導入が図られ、その構築にあたり監理業務を行いました。併せて、災害時に自治体や関連機関等から送られる映像情報を首相官邸はじめ各省庁でも視聴できる環境構築にあたり、監理業務を実施しました。

(2) 東京消防庁次期通信ネットワーク検証業務（東京消防庁）

電話ネットワークのデジタル化更新に関する調査研究に基づき、IPセントレックス方式のデモ機を設置し、その検証業務を行いました。

(3) 胆振東部消防組合消防本部消防救急無線デジタル化整備実施設計業務（北海道胆振東部地域）

消防無線デジタル化更新に伴う実施設計業務を行いました。

(4) 広尾町防災行政無線（同報系）施設整備実施設計委託業務（北海道広尾郡広尾町）

防災行政無線デジタル化更新にあたり、実施設計業務を行いました。

(5) 北見市（常呂町）防災行政無線同報系更新整備実施設計業務（北海道北見市）

防災行政無線デジタル化更新にあたり、実施設計業務を行いました。

(6) 登米市デジタル移動系防災行政無線監理業務（宮城県登米市）

防災行政無線デジタル化整備にあたり、施工監理業務を行いました。

(7) 大田区デジタル防災行政無線固定系更新施工監理業務（東京都大田区）
防災行政無線デジタル化整備にあたり、施工監理業務を行いました。

(8) 荒川区防災行政無線固定系屋外子局音声到達調査業務（東京都荒川区）
防災行政無線同報系の音達調査業務を行いました。

(9) 新宿区同報系防災無線デジタル化工事監理業務（東京都新宿区）
防災行政無線デジタル化整備にあたり、施工監理業務を行いました。

(10) 小平市防災行政無線（同報系）屋外子局設備再構築に係わるデジタル回線電波伝搬調査
業務（東京都小平市）
防災行政無線デジタル化更新にあたり、電波伝搬調査業務を行いました。

(11) 東村山市防災行政無線（デジタル同報系）基本設計業務（東京都東村山市）
防災行政無線デジタル化更新にあたり、実施設計業務を行いました。

(12) 青梅市防災行政無線再送信子局および移動局実施設計（東京都青梅市）
防災行政無線同報系デジタル化更新にあたり、実施設計業務を行いました。

(13) 町田市防災行政無線デジタル化実施設計業務委託（東京都町田市）
防災行政無線同報系デジタル化更新にあたり、実施設計業務を行いました。

(14) 南房総市デジタル防災行政無線実施設計調査業務（千葉県南房総市）
防災行政無線同報系及び移動系のデジタル化更新にあたり、調査業務を行いました。

(15) 川崎市同報系防災行政無線再整備基本計画業務（神奈川県川崎市）
防災行政無線デジタル化更新にあたり、基本設計業務を行いました。

(16) 甲斐市防災行政無線デジタル化整備工事施工監理業務（山梨県甲斐市）
防災行政無線同報系デジタル化整備にあたり、施工監理業務を行いました。

(17) 阿智村防災行政無線（デジタル同報系）実施設計（長野県阿智村）
防災行政無線デジタル化更新にあたり、実施設計業務を行いました。

(18) 高森町防災行政無線基本構想策定業務（長野県高森町/長野県土地改良事業団体連合会）
防災行政無線デジタル化更新にあたり、基本構想策定業務を行いました。

(19) 喬木村デジタル移動系防災行政無線設備設計監理業務（長野県喬木村）
防災行政無線デジタル化整備にあたり、施工監理業務を行いました。

(20) 安曇野市デジタル移動系防災無線施工監理業務（長野県安曇野市）
防災行政無線デジタル化整備にあたり、監理業務を行いました。

(21) 辰野町防災行政無線デジタル化工事設計業務（長野県上伊那郡辰野町）

防災行政無線デジタル化更新にあたり、実施設計業務を行いました。

(22) うきは市防災行政無線（同報系デジタル化整備）調査・実施設計・監理業務（福岡県うきは市）

防災行政無線デジタル化更新にあたり、実施設計業務を行いました。

(23) みやこ町防災行政無線調査・実施設計業務（福岡県京都郡みやこ町）

防災行政無線デジタル化更新にあたり、実施設計業務を行いました。

(24) 西海市崎戸・大島地区デジタル同報系防災行政無線施設整備工事調査・設計変更業務（長崎県西海市）

防災行政無線デジタル化更新にあたり、調査及び変更設計業務を行いました。

(25) 西海市崎戸・大島地区デジタル同報系防災行政無線施設整備工事施工監理業務（長崎県西海市）

防災行政無線デジタル化整備にあたり、施工監理業務を行いました。

(26) 波佐見町防災行政無線同報系調査設計業務（長崎県東彼杵郡波佐見町）

防災行政無線デジタル化更新にあたり、実施設計業務を行いました。

(27) 日向市同報系防災行政無線調査・設計業務（宮崎県日向市）

防災行政無線デジタル化更新にあたり、実施設計業務を行いました。

(28) 霧島市防災行政無線統合デジタル化工事（同報系）監理業務（鹿児島県霧島市）

防災行政無線デジタル化整備にあたり、施工監理業務を行いました。

(29) 新燃岳周辺防災行政無線整備工事監理業務（鹿児島県霧島市）

防災行政無線デジタル化整備にあたり、施工監理業務を行いました。

(30) 始良市防災行政無線（同報系）基本計画策定業務（鹿児島県始良市）

防災行政無線デジタル化更新にあたり、基本設計業務を行いました。

(31) 指宿市防災情報システム基本調査業務（鹿児島県指宿市）

防災行政無線同報系デジタル化更新にあたり、基本調査業務を行いました。

(32) 南種子町防災行政無線（デジタル化）基本計画策定業務（鹿児島県熊毛郡南種子町）

防災行政無線同報系デジタル化更新にあたり、基本計画策定業務を行いました。

Ⅲ 教育・文化施設や企業等の施設におけるコンサルティング業務

(1) 「情報通信システム」修繕に係わる設計業務（(財)松戸市文化振興財団）

松戸市文化会館の情報配信システム改修に関わる調査・設計業務を行いました。

(2) 同時通訳リニューアル工事コンサル（日本アムウェイ合同会社）

役員会議室、オーディトリウム、ボードルームの同時通訳システムの改修に伴う設計及び設計監理を行いました。

システムの運用・保守・構築等業務支援事業

(1) テレビ会議システム運用業務（（独）国際協力機構）

独立行政法人国際協力機構（JICA）が運用する TV 会議システムの機能及び可能性を最大限に活用し、より効果的な遠隔技術協力を実現するため、遠隔技術協力に係る一連のシステムの運用業務を行いました。JICA 本部に要員を配置し、JICA 本部 TV 会議室、国内拠点、在外拠点に設置された TV 会議システムの運用、貸出用 TV 会議装置類を利用した外部施設を接続した番組配信のための運用、及び一連の共通業務を含む管理を行いました。

(2) 甲州市電算システム運用監理及び研修業務（山梨県甲州市）

電算システム（基幹業務システム及び内部情報系システム）の運用に関する助言を行いました。また、職員向けの電算システム運用に関するセキュリティ研修会を開催し、情報リテラシー教育及び庁内ネットワークの更なるセキュリティ面の向上を図りました。

(3) 笛吹市セキュリティ外部監査業務（山梨県笛吹市）

情報セキュリティ外部監査を実施し、セキュリティ上の現状の問題点、改善点について、市へ助言・提案を行いました。また、職員等に内部監査の研修会を行い、セキュリティ意識の向上を図る支援を行いました。

(4) 電子情報配信システムの保守（（財）松戸市文化振興財団）

松戸市文化会館の電子情報配信システムの保守業務を行いました。

(5) 昭和女子大学 AV システムの保守（学校法人昭和女子大学）

大学一号館、研究館、80年館に設置されている AV システムの保守業務を行いました。

(6) 愛知大学東京事務所 PC 情報機器の保守（学校法人愛知大学）

愛知大学東京事務所に設置されている情報機器について保守業務を行いました。

(7) 松本歯科大学 AV・情報設備保守点検整備（学校法人松本歯科大学）

各会議室、教室、共有設備の AV・情報設備の保守業務を行いました。

(8) プレゼンテーションシステムの構築（昭和女子大学）

昭和女子大学 1 号館会議室のプレゼンテーションシステムの設計施工を行いました。

(9) 導管研修センター新研修棟 研修棟視聴覚設備の構築（東京ガス株式会社）

東京ガス株式会社の導管研修センターに、新たに建設した新研修棟の各教室及びエマックス棟、内管実習棟、訓練棟各教室の AV システム、ネットワークシステム、HD カメラシステムの設計・施工を行いました。研修効果を高めるためのさまざまな工夫を盛り込みました。

(10) 導管研修センター新研修棟展示室展示設備の構築（東京ガス株式会社）

映像音響設備工事と共に新研修棟展示室の展示物の制作も行いました。

(11) プライバシーマーク制度の認定審査支援業務

経済産業省及び（一財）日本情報経済社会推進協会が普及・啓蒙している個人情報保護に関する第三者認定制度である「プライバシーマーク認定制度」の認定業務について、（一財）日本情報経済社会推進協会及び（財）放送セキュリティセンターに対し、審査支援業務を行いました。

教材制作事業

(1) Eラーニング教材の制作（全国社会保険労務士会連合会）

「社会保険労務士研修システム」（全国社会保険労務士会連合会 運営）で公開する Eラーニング教材の制作を行いました。

1) 「個人情報保護と社会保険労務士」（9 単元）

業務上多くの個人情報を取り扱う社会保険労務士にとって、個人情報の取扱はより一層の配慮が求められています。本講座では、「個人情報の保護に関する法律」の概要、「社労士事務所における個人情報とは」「個人情報を適切に取り扱うために必要な規程とその実践方法」等、実践的な個人情報保護に向けた取り組み方法を解説しています。

2) 「地方公共団体における労働条件審査の実務」（9 単元）

「労働条件審査の実務マニュアル～労働条件審査の実際とこれからの方向性」（平成 22 年発行 全国社会保険労務士会連合会）を基に平成 22 年に制作した Eラーニング教材の具体的な実務版として制作。本講座では、地方公共団体における労働条件審査を社会保険労務士が行う業務として確立するため、具体的事例を基に解説しています。

3) 「紛争解決業務 実務講座」（9 単元）

*ただし、Flash プレイヤー開発/動画エンコード作業のみ

特定社労士は、個別労働関係紛争の迅速な解決の担い手として、労働者並びに経営者から、労務管理の専門家として大きく期待されています。本講座では個別労働関係紛争の解決における特定社会保険労務士及び社会保険労務士の権限や、労使それぞれの立場における紛争解決までの流れを、具体的な事例を交えながら解説しています。

(2) DVD 教材の制作（(独)労働者健康福祉機構 東京産業保健推進センター）

「産業保健スタッフによる面接の進め方～初回面接のポイント～」(26 分 42 秒)

各都道府県のセンターで開催される産業保健スタッフの面談技法に関する集合研修で講師が利用する DVD の制作を行いました。とくに経験の浅い産業保健スタッフが面談する際に、気をつけるポイントを 3 パターンの相談者を例にロールプレイ形式で収録し、講師が各シチュエーションの解説、面談方法についてのアドバイスを行います。

(平成 23 年度 東京産業保健推進センター調査研究「産業保健スタッフ養成のためのメンタルヘルス教育プログラムの開発及び検証」の一環として制作)

(3) 研修会撮影支援（(独)労働者健康福祉機構 東京産業保健推進センター）

「メンタルヘルス基礎研修会」

独立行政法人労働者健康福祉機構 東京産業保健推進センターが開催する「メンタルヘルス基礎研修会」の撮影支援を行いました。

以上